

# 戦 評 用 紙

平成30年度関東高等学校バスケットボール大会埼玉県予選会

平成30年5月19日(土)

会 場 越谷市立総合体育館

Eコート第1試合

対 戦	正智深谷高校	13-17	山村学園高校
	57	11-12	66
		17-18	
		16-19	

第1P 両チーム共に、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。先制点は山村学園#4のドライブでフリースローをもらい3点、続いて#9がシュートを決め幸先の良いスタートを切る。対する正智深谷は、#4のドライブでフリースローをもらい3点。その後、山村学園#6のドライブが決まり流れをつかみたいところだが、正智深谷#9のジャンプシュート、#8の3P、#14のフリースローと連続得点で応戦。両チーム共にお互いの激しいディフェンスをなかなか崩しきれない。残り時間5分を切り、正智深谷#8のフリースローの得点に対し、山村学園は#6のジャンプシュート、#7のリバウンドシュート、#9#16のゴール下のシュートとバランス良くシュートを決め、13-17で山村学園のリードで終了。

第2P 山村学園#9のミドルシュートでスタート。しかし、その後両チーム共にパスミスやシュートミスが続き得点に結びつかない。残り時間8分を切ったところで正智深谷がタイムアウトを請求。その後、正智深谷#5#4がドライブで攻め込むが、得点に結びつかない。今度は、山村学園がタイムアウトを請求。しかし、流れをつかむには至らなかった。正智深谷は#5のジャンプシュート#14のドライブでシュートを決め、山村学園は#6のドライブ#7#9のインサイドで応戦。24-29で山村学園のリードで前半を終了。

第3P 両チーム共に激しいハーフコートマンツーマンディフェンスは変わらず。山村学園#6の3Pでスタート。正智深谷は#5が果敢に攻めるが、なかなか得点差が縮まらない。残り時間5分を切ったところで山村学園がタイムアウトを請求。その後、山村学園#4のリバウンドシュート、ゴール下のシュート、#9のターンシュートで得点を重ね徐々に点差を広げていく。しかし、正智深谷も粘り強く攻め続け、#5のジャンプシュート、#13のリバウンドシュート、#14の3Pで応戦。41-47で山村学園のリードで終了。

第4P #5#8を起点に攻める正智深谷に対し、ドライブ・3P・インサイドとそれぞれがチャンスを作り出し攻める山村学園。残り時間7分を切ったところで、正智深谷#5のジャンプシュート・速攻、#8のジャンプシュート・ドライブが決まり、遂に逆転に成功する。2点差をつけられた山村学園は、タイムアウトを請求。その後、山村学園#6の

3 P が決まり逆転。更に # 7 のドライブ、# 6 の 3 P ・ドライブが決まり、序々にリードを広げていく。6 点差をつけられたところで、今度は正智深谷がタイムアウトを請求。正智深谷は積極的に 1 対 1 で得点を狙うが、思うようにシュートを決めきれない。一方、山村学園は # 6 # 7 が着実にシュートを決め、5 7 - 6 6 で勝利した。一進一退の戦いだったが、シュートの確実性の差が勝敗を分けた試合であった。

(記入者：渡邊恵理)